

平成23年度事業活動の概要報告

昭和32年に設立された財団法人神戸大学六甲台後援会は、平成23年度より、公益財団法人神戸大学六甲台後援会として新たな歩みを始めました。新法人の初年度に当たる平成23年度（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成24年6月11日に開催された理事会及び6月22日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されたところです。当財団の活動内容を皆様方にご理解いただきたく、ホームページ上で、(1)学術交流促進・研究成果公開助成事業（学術交流の促進と研究成果の公開に係る助成事業）、(2)教育の充実・学術基盤整備助成事業（教育の充実と学術基盤整備に係る助成事業）、(3)学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という、本財団が行う主要な事業の別に、その内容の概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せて、ご報告いたします。

平成23年度では、学術交流の促進や研究成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施するとともに、外国人研究者との交流促進のための長期滞在（宿泊）施設として利用に供しているロイ・スミス館（国登録有形文化財）の一部改修を行いました。

I 事業報告の概要

（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業（ただし、付帯経費を除く）	<u>19,949千円</u>
1 - 1 学術交流の促進	16,569千円
(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）	15,297千円
○経済学研究科	(3,255千円)
・久保広正教授（平成23年8月～平成23年9月、オーストリア他）	
目的：EU新加盟国における危機対応に関する情報収集	
・中川聡史准教授（平成24年2月～3月、ドイツ他）	
目的：ドイツにおける地域人口研究状況の調査及びラオスの人口移動の現状視察	
・柳川隆教授（平成24年3月～5月、フランス）	
目的：欧州の競争政策の研究	
○経営学研究科	(6,070千円)
・梶原武久准教授（平成23年4月、アメリカ）	
目的：ヨーロッパ会計学会年次総会における研究報告	
・梶原武久准教授（平成23年8月～平成24年9月、アメリカ）	
目的：管理会計に関する共同研究	
・島田智明准教授（平成23年7月、中華民国）	
目的：International Conference of Decision Sciences Institute 2011において、医薬品企業の社会的責任について、および、オペレーションズ戦略について研究成果を発表、現地視察のため	
・南知恵子教授（平成23年6月～7月、イタリア）	

目的：サービス・イノベーション・アプローチにおける、ICT利用による
リテール・オペレーションの効率化（第16回国際学会出席）

- ・高尾厚教授（平成23年8月、ドイツ）

目的：欧州における激甚災害の対応にかかる実態調査

- ・原田勉教授（平成23年11月～平成24年3月、インド）

目的：インドにおける経済開発状況の視察およびインド哲学の経営哲学へ
の導入可能性についての理論的検討

○法学研究科 (2,472千円)

- ・中川丈久教授（平成23年8月、イギリス）

目的：消費者保護法に関する資料収集のため

- ・興津征雄教授（平成23年8月～平成23年9月、アメリカ）

目的：アメリカ合衆国における裁判所の法解釈と権力分立原理に関する
資料収集及び研究打合せのため

- ・八田卓也教授（平成24年3月～平成24年4月、スペイン他）

目的：集団訴訟に関する研究、裁判傍聴、ヒアリング及び資料収集

○国際協力研究科 (1,000千円)

- ・高橋百合子准教授（平成23年11月、スペイン）

目的：スペインおよびラテンアメリカにおけるクライアンテンリズム
の現状分析、および抑制メカニズムに関する研究

- ・松並潤教授（平成24年1月、インドネシア）

目的：インドネシアリンクエッジプログラムに係る留学生の面接及び
関係機関との協議のため

- ・川畑康治准教授（平成24年3月、カナダ）

目的：東アジア諸国の工業発展メカニズムに焦点を当てた経済成長と
産業構造変化の研究

○経済経営研究所 (2,500千円)

- ・佐藤隆広准教授（平成23年6月～平成24年4月、インド）

目的：インド製造業部門に与えるグローバリゼーションの経済的イン
パクトに関する理論的・実証的研究

(2) 学会・シンポジウム等開催支援（国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム

- ・セミナー・ワークショップ等開催への助成）・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,272千円

○経済学研究科 (845千円)

- ・漢陽大学校・神戸大学合同コンファレンス参加及び交流協定に関する打合せ
(平成23年6月9日～11日)

- ・神戸大学・山東大学・南開大学・浙江大学共催シンポジウム

(平成23年11月15日、参加者数25名)

テーマ：東アジアにおける持続可能な経済社会

○経営学研究科 (67千円)

- ・日本交通学会学会創立70周年記念国際シンポジウム

(平成23年10月15日、参加者数216名)

テーマ：持続可能社会における交通政策

○法学研究科

- ・日本私法学会第75回大会

(60千円)

(平成23年10月9日～10日、参加者数1,000名)

メインテーマ:消費者契約法の10年

- 経済経営研究所 (300千円)
 - ・神戸大学経済経営研究所・大学院経済学研究科・漢陽大学校経済金融大学
 - ・経済研究所 共同研究発表会(平成23年6月9日~11日、参加者数15名)
- テーマ:経済学と社会

1 - 2 学術成果の公開 **3,380千円**

- (1) 学術研究成果刊行支援(学術研究成果刊行への助成) 2,950千円

- 経済学研究科 (2,400千円)
 - ・加藤弘之著『中国の都市化と産業集積—長江デルタでなにが起きているか—』
勁草書房

- ・藤岡秀英著『社会政策のための経済社会学』(株)高菅出版

- 国際協力研究科
 - ・小川啓一著『サブサハラアフリカにおける無償初等教育政策』 (550千円)

- (2) 海外学術雑誌投稿支援(海外学術雑誌投稿への助成) 430千円

- 経営学研究科 (430千円)
 - ・教員の研究論文海外投稿支援(2名)
金井 壽宏教授、三古展弘准教授

2 教育の充実・学術基盤整備助成事業(ただし、付帯経費を除く) **18,165千円**

2 - 1 教育の充実 **18,130千円**

- (1) 社会科学特別奨励賞 10,388千円

(経済学部・経営学部・法学部の学部学生(2年生~4年生)、及び経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生(博士課程前期課程(法学研究科にあつては専門職学位課程を含む)の成績最優秀者への奨学金支給)

- (2) 社会科学特別奨励賞 3,590千円

(経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生(博士課程後期課程)の海外研究活動支援)

- (3) 相互履修科目開講支援 1,081千円

他学部学生向け増設専門講義科目

経済学部: エッセンシャル・ミクロ経済学、エッセンシャル・マクロ経済学

経営学部: エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

法学部: エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

- (4) 田崎奨学基金による奨学金支給(2名) 200千円

- (5) 大学院学生に対する支援 2,871千円

- 法学研究科 (1,171千円)
 - ・大学院学生の海外研究活動支援(4名)

- 国際協力研究科
 - ・大学院学生の海外研究活動支援(6名) (1,700千円)

2 - 2 学術基盤の整備 **35千円**

- (1) 中山正實画伯展に対する助成 35千円

3 学術交流施設維持管理事業(付帯経費を除く。) **3,684千円**

- (1) 学術交流施設(「ロイ・スミス館」)の維持・管理 3,684千円